



冬を安心して過ごすために

ここでは、冬を安心して過ごすために家庭でできることなどを紹介しています。ぜひご覧ください。

大雪による停電や孤立に備えて

問 総務課危機管理室 (☎ 53-3365)

今年の冬は極端な雪の降り方が予想されます。早めの備えで安全に冬を過ごしましょう。

倒木や倒竹による停電

- 12月の雪は重く、倒木による停電や通行止めが起こる場合があります。懐中電灯などの明かりの準備や寒さ対策として、毛布などを用意しましょう。

大雪による孤立

- 道路などの寸断により、孤立する恐れがあります。最低でも1週間分の備蓄品を準備しましょう。

備蓄品の例

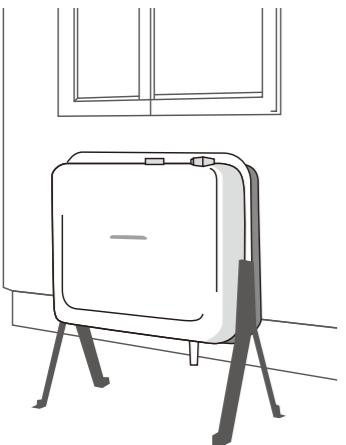
- 医薬品
- 飲料水
- 食料
- カイロ
- 燃料
- 携帯ラジオ
- 力セットコンロ
- 懐中電灯



大雪による倒木で通れない道路
(令和4年12月)

異常を感じたら

ガス漏れや燃焼器具に異常があった場合は、器具の使用を中止し、LPガス販売店に連絡してください。ガスマーターからの無線通報により、販売店または保安機関から連絡が入る場合があります。



雪下ろしの注意

屋根の雪下ろしの際は、周囲のLPガス設備に十分注意しましょう。

排気筒の点検

排気筒や吸気口が雪でふさがっていないか、損傷がないか点検し、換気を忘れずに。

除雪の徹底

LPガス容器やメーター周辺、屋外給湯器などが雪に埋もれないように点検してください。

問 (一社) 新潟県LPガス協会
(☎ 025-267-3171)



灯油

問 消防本部予防課危険物係
(☎ 53-7222)



ホームタンク使用時の注意点

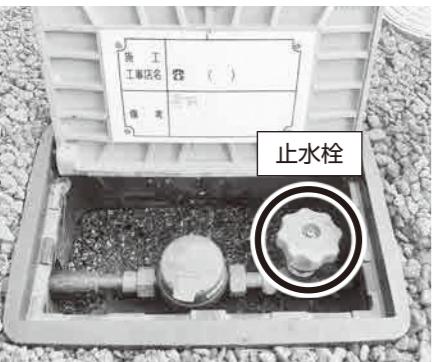
配管の管理

落雪などによる破損に注意してください。小まめな除雪を。

給油時の注意

給油中は離れず、終了後はバルブを完全に閉めましょう。

寒くなると暖房器具の使用が増え、ホームタンクの灯油が河川に流出するなどの事故が発生することがあります。灯油の流失事故の7割は一般家庭で発生しています。一人一人が注意して、きれいな環境を守りましょう。



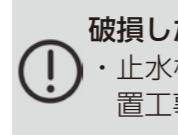
予防策

- 屋外の水道管に保温材を巻く
- 長期不在時は休止手続きを



凍結時

- タオルをかぶせて、ゆっくりぬるま湯をかけて溶かす



破損したら

- 止水栓を閉めて、市指定の給水装置工事事業者に修理を依頼する

*止水栓にはさまざまな種類があります

安全に入浴するための注意点

- 事前に脱衣場や浴室を暖めてから、41度以下のお湯に10分までを目安に入浴しましょう。
- 浴槽から急に立ち上がりないようにしましょう。立ちくらみに気を付けてください。
- 食後すぐの入浴や飲酒後、医薬品服用後の入浴は避けましょう。
- 入浴する前には、同居者に一声かけて意識してもらいましょう。

ヒートショックが起こりやすい場面

入浴時

暖かい部屋から寒い脱衣所へ移動し、熱いお湯に浸かる時や浴槽から出た直後

トイレ

布団から出て、暖房が効いていない寒いトイレへ行く時

室内と浴室などの急激な温度変化がある場面は要注意

死亡者は交通事故の約2倍といわれています。

ヒートショックは気温の変化によって血圧が乱高下して、心臓や血管に負荷がかかることがあります。心筋梗塞や脳梗塞などの病気を引き起こし、入浴中の死亡者数は交通事故の約2倍といわれています。



ヒートショック

問 消防本部警防課救急係
(☎ 53-7223)



(出典：政府広報オンライン)

防冬の交通事故

問 市民課生活人権室
(☎ 53-3363)

年末に近づくと、人や車の動きが慌ただしくなるだけではなく、冬型の気候や飲酒の機会が増え、交通事故が多発するおそれがあります。日ごろから交通ルールを守り、正しい交通マナーを習慣づけることで、事故に遭わない事故を起こさないよう心がけましょう。

- 運動の重点
- 横断歩行者の交通事故防止
- スローガン
- 期間 12月11日(木)～20日(土)
- 安全運転
- 冬の道 慌てず急がず

